

研修カリキュラム(科目別シラバス)

教科及び項目		時間数(60分)			指導の視点・ねらい
		基準時間	生活支援時間	初任研時間	
職務の理解	多様なサービスの理解	3	1	2	介護サービスには様々な種類のサービスがあることを理解し、現場における業務内容の共通点や違いについて学ぶ。
	介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	1	2	介護サービスにおける介護職の職務内容を理解し、ケアプランに基づいた一連のチームアプローチや他職種との連携について理解する。
介護における尊厳の保持・自立支援	人間の尊厳を支える介護	5	3	2	介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支えていることを自覚し、福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。
	自立に向けた介護	4	3	1	介護は要支援、要介護状態の予防、改善や維持を目指した支援であるべきことを理解する。自立に向けた介護の重要性と意義を学習する。
介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1	1	利用者の生活を支援するには様々な専門職との連携が必要で、連携にはそれぞれの役割分担を理解することと専門性を発揮することが重要なことを学ぶ。
	介護職の職業倫理	1.5	1	1	介護職員には厳しい倫理観が求められるため、専門家としての社会的責任を十分理解し、倫理に根ざした姿勢、支援の方法を学ぶ。
	介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1	1	介護者は利用者のみならず介護者の健康や感染症の予防や拡散の阻止に勤めなければならず、環境整備やリスクマネジメントの考え方が要になっているが、具体的にどのような対応や知識が必要かを学ぶ。
	介護職の安全	1.5	1	1	介護者の安全や健康が脅かされることが無いようにすることが、健全なサービスを提供する上で最も必要であるが、具体的にどのような対応が必要かを学ぶ。
連携	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	3	1	2	介護保険制度のしくみやサービスの内容を、財政的な背景から行政の役割、実際のサービス内容や利用の流れを学ぶ。
	医療との連携とリハビリテーション	3	1	2	因素と福祉の連携について各々のサービスや連携のあり方を学ぶと共に、介護職が実施可能となった医行為について理解し連携の理由や相処についても学習する。
	障害福祉制度及びその他制度	3	1	2	介護職員が支援する対象者である障害者への支援にあたり、サービスの基となる法令や社会的な支援システムとサービスの内容、利用の流れを学ぶ。

介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション	2	2	0	コミュニケーションの意義、目的、役割からコミュニケーションの基礎技術や利用者、その家族とのコミュニケーションの実際について学習する。
	介護におけるチームのコミュニケーション	4	4	0	チーム介護のための記録の意義や効果的な記載法をはじめ、報告、連絡、相談の意味や意義、カンファレンスや事例検討会等の留意点について学習する。
老化と認知症の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1	2	老化による高齢者のこころとからだの変化を学習し、老化の理解を通して高齢者の介護における基本的な留意点を学ぶ。
	高齢者と健康	3	2	1	高齢者に多い疾患や生活習慣病、老化に伴う疾患等について学習し、それらの基本的な理解を通して、日常における高齢者の生活支援の留意点を学ぶ。
	認知症を取り巻く状況	1.5	2	1	認知症の高齢者の行動や心理症状の理解を通して、共感的な姿勢で関わるケアについて学習する。利用者の生活を支援するには様々な専門職との連携が必要で、連携にはそれぞれの役割分担を理解することと専門性を習得すること等重要なことを学ぶ。
	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1	1	認知症の診断等で用いられる評価法をはじめ、障害の状態や原因となる疾患などの医学的な理解と共に、予防のための対策や健康管理について学習します。
	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	2	1	認知症における中核症状と周辺症状を学び、周辺症状の具体的な現れ方や症状、認知症の高齢者とのコミュニケーションや基本的なケアについて学習する。
	家族への支援	1.5	1	1	認知症の高齢者を支える家族への支援を学習し、介護者の思いを理解することや、介護職員としてどの様に支援するべきか等を学ぶ。
障害の理解	障害の基礎的理解	1	1	0	高齢による介護状態ではなく、疾患や障害によって介護が必要となった障害者に関し、障害の概念、障害者を支える制度や仕組み、法律について学習し、障害に関する基礎的な理解を深める。
	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	1	1	0	視覚障害や聴覚障害をはじめ、内臓障害、精神障害等について各々の疾患や症状、介護における留意点について学習し、障害者を正しく理解し、介護の基本姿勢を学ぶ。
	家族の心理、かかわり支援の理解	1	1	0	介護においては本人だけでなく家族にも寄り添うことが重要であることを学び、障害者(児)の家族の心理や障害受容、支援にあたっての留意点について学習する。
からだのこころ	介護の基本的な考え方	4	2	2	介護の理念や法的根拠、介護を行う上での視点について学習し、利用者を主体とする介護の意味を理解し、基本的な考え方を学ぶ。

介護に関するところのしくみの基礎的理解	4	3	1	利用者の尊厳を守る介護を実践するために欠かせない、記憶や感情のメカニズムをはじめ、幸福感や生きがいを感じる自己の概念、さらには老化や障害の受容、適応について学習する。
介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	3	1	人体の各部の名称や骨や関節の構造、中枢神経や自立神経と内臓器官などの基礎的な知識を学習し、こころとからだのしくみを理解した上で、利用者を一体的にとらえた対応を学ぶ。
生活と家事	4	4	1	生活支援としての家事サービスのあり方を明確にし、実際の調理、洗濯、掃除等の家事サービスの留意点を学び、専門職が行う家事サービスのあり方を学習する。
快適な居住環境整備と介護	5	2	3	快適な生活を送るために必要な居住環境の整備から、利用者が活用できるだけでなく家族や介護者の健康を守る福祉用具（機器）について学習する。
排世に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護整容に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	9	0	9	生活する上で切り離すことのできない排世について、基礎知識をはじめ具体的な支援の方法を学び、利用者の尊厳を重視した排世介助について学習する。
移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4	2	2	移動・移乗の意義をはじめ、安全で安楽な介助を行うためのボディメカニクス、人体の構造や基本肢体の理解、具体的な介助技術等について学習する。
食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	2	5	食事の支援は高齢者にとって生活の基盤となる重要なものだが、食事の意義と目的から、栄養に関する知識、代表的な疾病における栄養や調理、食事の介助方法について学習する。
入浴、清潔保持に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	9	0	9	体を清潔に保つことを目的に、さまざまな生活動作を伴う入浴における介助をはじめ、湯式や部分浴に関する支援の方法を学習する。
整容に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	4	0	4	社会生活をおくる上で重要な身なりを整えることの意義や目的、整容のために必要な支援の方法や技術について学習する。
睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4	2	2	睡眠がこころとからだに与える影響について理解し、睡眠のメカニズムから、心地よい睡眠を確保するための環境や福祉用具の活用、快適睡眠のための支援の方法を学習する。
死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	5	2	3	死にゆく人の尊厳を守り、その人らしい死を迎えるための介護を実現するために、終末期ケアの基礎知識から、死にいたる課程、死を迎える高齢者と家族の心理を学び、その支援の方法を学ぶ。

	介護過程の基礎的理解	6	2	4	生活の各場面での介護について、ある状態象の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れを理解し、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点を学ぶ。
	総合支援技術演習	6	0	6	生活の各場面での介護について、ある状態象の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れを、デイサービスセンターや介護老人保健施設等での現場実習を通じて、介護の理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学ぶ。
振り返り	振り返り	2	1	1	初任者研修全体を振り返り、研修を通して学んだこと、習得したことについて再確認を行う。
	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	1	1	研修修了後や就業の際に、利用者の自立支援を目指し、利用者及び家族が安心できるケアを行うため、職員の資質の向上を図ることを目標とした研修等を継続的に受講する必要性を再確認する。
	修了試験	1	1	1	